PCT

国際予備審查報告

(法第12条、法施行規則第56条) (PCT36条及びPCT規則70)

出願人又は代理人 の書類記号 903075	今後の手続きについては、国際予備審査報告の送付通知(様式PCT/ IPEA/416)を参照すること。			
国際出願番号 PCT/JP03/04301	国際出願日 (日.月.年) 03.04.2003	優先日 (日.月.年) 11.06.2002.		
国際特許分類 (IPC) Int.Cl'B29D29/00, B29C43/04, B29C59/02, D21F3/00				
出願人 (氏名又は名称) ヤマウチ株式会社				
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			

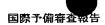
1.	国際	予備	審査機関が作成したこの国際予備審査報告を法施行規則第57条(PCT36条)の規定に従い送付する。
2.	この	国際	予備審査報告は、この表紙を含めて全部で 5 ページからなる。
		查機 (P	国際予備審査報告には、附属書類、つまり補正されて、この報告の基礎とされた及び/又はこの国際予備審 関に対してした訂正を含む明細書、請求の範囲及び/又は図面も添付されている。 CT規則70.16及びPCT実施細則第607号参照) 書類は、全部で 2 ページである。
3.	この	国際	予備審査報告は、次の内容を含む。
	I	X	国際予備審査報告の基礎
	п		優先権
	Ш	X	新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成
	IV		発明の単一性の欠如
	v	X	PCT35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明
	VI		ある種の引用文献
	VII		国際出願の不備
	VIII		国際出願に対する意見
		-	

国際予備審査の請求書を受理した日 09.09.2003	国際予備審査報告を作成した日 04.06.2004
名称及びあて先	特許庁審査官(権限のある職員) 4 F 8 7 1 0
日本国特許庁 (IPEA/JP) 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	大島 祥吾
米京郎・110回位展が製工」日4番3万	電話番号 03-3581-1101 内線 3430



国際出願番号 PCT/JP03/04301

I. 国際予備審査報告の基礎					
1. この国際予備審査報告は下記の出願書類に基づいて作成された。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に 応答するために提出された差し替え用紙は、この報告書において「出願時」とし、本報告書には添付しない。 PCT規則70.16,70.17)					
出願時の国際出願書類					
X 明細書 第 1-10 ページ、ページ、明細書 明細書 第 ページ、ページ、ページ、ページ、ページ、ページ、ページ、ページ、ページ、ページ、	出願時に提出されたもの 国際予備審査の請求書と共に提出されたもの 付の書簡と共に提出されたもの				
X 請求の範囲 第 項、 請求の範囲 第 項、 項、 請求の範囲 第 1-8 項、	出願時に提出されたもの PCT19条の規定に基づき補正されたもの 国際予備審査の請求書と共に提出されたもの 付の書簡と共に提出されたもの				
X 図面 第 1-4 ページ/図、ページ/図、ページ/図、ページ/図、ページ/図、ページ/図、	国際予備審査の請求書と共に提出されたもの				
明細書の配列表の部分 第ページ、明細書の配列表の部分 第ページ、明細書の配列表の部分 第ページ、明細書の配列表の部分 第ページ、	出願時に提出されたもの 国際予備審査の請求書と共に提出されたもの 				
2. 上記の出願書類の言語は、下記に示す場合を除くほか、こ	の国際出願の言語である。				
上記の書類は、下記の言語である 語である。 国際調査のために提出されたPCT規則23.1(b)にいう翻訳文の言語 PCT規則48.3(b)にいう国際公開の言語 国際予備審査のために提出されたPCT規則55.2または55.3にいう翻訳文の言語 3. この国際出願は、ヌクレオチド又はアミノ酸配列を含んでおり、次の配列表に基づき国際予備審査報告を行った。					
□ この国際出願に含まれる審面による配列表 □ この国際出願と共に提出された磁気ディスクによる配列表 □ 出願後に、この国際予備審査(または調査)機関に提出された審面による配列表 □ 出願後に、この国際予備審査(または調査)機関に提出された磁気ディスクによる配列表 □ 出願後に提出した審面による配列表が出願時における国際出願の開示の範囲を超える事項を含まない旨の陳述書の提出があった □ 書面による配列表に記載した配列と磁気ディスクによる配列表に記録した配列が同一である旨の陳述書の提出があった。					
4. 補正により、下記の書類が削除された。	・ジ/図				
5. この国際予備審査報告は、補充欄に示したように、補正が出願時における開示の範囲を越えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(c) この補正を含む差し替え用紙は上記1. における判断の際に考慮しなければならず、本報告に添付する。)					



国際出願番号 PC1/JP03/04301

Ⅲ. 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備	審査報告の不作成
1. 次に関して、当該請求の範囲に記載されている発明の新規性、 審査しない。	進歩性又は産業上の利用可能性につき、次の理由により
国際出願全体	
X 請求の範囲 6,7,8	
理由:	
[] この国際出願又は請求の範囲	は、国際予備審査をすることを要しない
•	
明細書、請求の範囲若しくは図面(次に示す部分)又は請求の記載が、不明確であるため、見解を示すことができない(具体	
·	
·	
	• •
·	
	·
全部の請求の範囲又は請求の範囲 裏付けを欠くため、見解を示すことができない。	が、明細書による十分な
X 請求の範囲 6、7、8	について、国際調査報告が作成されていない。
2. ヌクレオチド又はアミノ酸の配列表が実施細則の附属書C(塩	基配列又はアミノ酸配列を含む明細書等の作成のための
ガイドライン) に定める基準を満たしていないので、有効な国	際予備審査をすることができない。
事面による配列表が提出されていない又は所定の基準を満	たしていない。
■ 磁気ディスクによる配列表が提出されていない又は所定の	基準を満たしていない。

v.	新規性、 文献及ひ	進歩性又は産業上の 利 説明	リ用可能性について	の法第12条	(PCT3	5条(2))	に定める見解、	それを裏付ける
1.	見解							
	-							

新規性(N) 請求の範囲 有 請求の範囲 進歩性(IS) 請求の範囲 有 請求の範囲 産業上の利用可能性(IA) 請求の範囲 1-5有 請求の範囲

文献及び説明 (PCT規則70.7)

文献1:JP 2002-331579 A(株式会社ブリヂストン)

2002.11.19、請求の範囲,【0030】

文献 2 : JP 11-79456 A (グンゼ株式会社)

1999.03.23、請求の範囲,【0030】

文献3: JP 8-300507 A (東洋ゴム工業株式会社) 1996.11.19、請求の範囲,【0012】,【0031】

請求の範囲1,2,3,

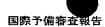
請求の範囲1~4に記載された発明は、国際調査報告で引用された文献1及び2及

び3から進歩性を有さない。 請求の範囲1、3に記載された「弾性材料によってエンドレスに形成された筒状の 弾性ベルトの外周面および/または内周面を熱プレスすることによって平滑化」する点は、文献1の請求の範囲、文献2の請求の範囲第8項、文献3の請求の範囲に開示

されており、製紙用弾性ベルトとして用いることは容易である。 請求の範囲2に記載された発明における「ベルトの内周面及び外周面の表面粗さが $20 \mu m$ (R z) 以下」である点は、文献 1σ 【0047】の「樹脂性ベルトの表面を均質で高精度のものに仕上げることができる」という記載を考慮すれば、文献 1σ 不唆されているといえる。また、文献 1σ 【0031】の「表面が鏡面仕上げの中子を使用すれば、・・研磨工程の煩雑さを解消できる」という記載を考慮すれば、この 点は文献3に示唆されているといえる。

そして、これらを製紙用弾性ベルトとして用いることは容易である。

請求の範囲4に記載された熱プレスの具体的な加熱条件については、文献1又は文 献2には記載がないが、弾性ベルトの具体的な材質、大きさ等に応じて当業者が適宜設定しるう設計的事項といえ、請求の範囲4に記載された発明は、文献1又は2から 当業者であれば容易に想到し得たものである。



国際出願番号 PCT/JP03/04301

補充欄 (いずれかの欄の大きさが足りない場合に使用すること)

第 V.2 欄の続き

請求の範囲 5

請求の範囲5に記載された発明は、国際調査報告に記載されたいずれの文献にも記載されておらず、当業者にとって自明なものでもない。